

巻末表 3：『新聞総覧』掲載の東南アジアで出版された新聞，1917-41 年

『新聞総覧』掲載の東南アジアで出版された新聞，1917-21 年			
	『南洋日日新聞』1917 年	『南洋日日新聞』1918 年	『南洋日日新聞』1919 年
沿革	大正三年四月一日前日本人栽培業者協会幹事曾木重高とやまと新聞特派員古藤秀之〔三〕の両氏共同して同紙を創刊し曾木重高氏は主として編輯を掌り古藤秀之〔三〕氏代表者として營業の事を担任せしが大正四年五月曾木重高氏病を得古藤秀之〔三〕氏編輯其他一切の事務を見る事となり曾木重高氏は同年十一月廿四〔五〕日不幸不帰の客となれり	大正三年四月一日、曾木重高及び古藤秀三の両氏の手にて創立し、最初石版刷にて四六判七段の日刊四頁を発行し、同年九月より活字に改め四六判八段とす。大正四年十一月曾木重高氏物故し、古藤秀三氏の経営となり、大正六年八月社員二名を上げて理事となし三名の組合とす、当地唯一の日刊邦字新聞なり。	『南洋日日新聞』1919 年 [同左]
新聞名	南洋日々新聞	南洋日日新聞	南洋日日新聞
新聞社名	南洋日々新聞社	南洋日日新聞社	南洋日日新聞社
所在地	海峽殖民地新嘉坡ウヰクトリア州五ノ二	英領海峽殖民地新嘉坡ウヰクトリア州五〇	英領海峽殖民地新嘉坡ウヰクトリア州五〇
支局所在地			スマトラ島メダン日本東京
創立	大正三年四月一日	大正三年四月一日	大正三年四月一日
組織	個人経営	組合組織	組合組織
組織変更			大正六年七月
社長	古藤秀之〔三〕	古藤秀三	古藤秀三
主筆	野村貞吉	野村貞吉	野村貞吉
編輯長	主筆兼任	主筆兼務	主筆兼務
營業部広告及販売部長	平〔手〕塚貞吉	平〔手〕塚貞吉〔營業部長〕	平〔手〕塚貞吉〔營業部長兼広告販売部長〕
機械種類	平盤一台	平盤一台	平盤一台
機械数	新聞用以外五台		
活字種類	旧活字	旧活字	八ポイント半
活字改正			大正七年十月
字母	ポイント式設備有		
行段頁	一行十五字詰、一段九十三行 一頁九段	一行十五字詰、一段九十三行 一頁九段	一行十五字詰、一段百二十行 一頁十一段
頁数	四頁	四頁	四頁
発行日	毎夕刊（日及英政府公休日休）	毎夕刊（日及英政府公休日三大節休）	毎夕刊（日及英政府公休日三大節休）
広告料	一行參拾五仙	一行銀參拾五仙	一行銀參拾五仙
電話			一五八七
購読料	一弗（海峽殖民地貨）	一弗（海峽殖民地貨）	一弗（海峽殖民地貨）
『新聞総覧』掲載の東南アジアで出版された雑誌，1918-21 年			
	『南洋及日本人』1918 年	『南洋及日本人』1919 年	
雑誌名	南洋及日本人	南洋及日本人	
所在地	新嘉坡中通七十六	新嘉坡中通七十六	
創刊	大正五年八月二十八日	大正五年八月二十八日	
社長	佃 光治	佃 光治	
紙幅	菊二倍	菊二倍	
頁数	十八頁	十八頁	
発行日	毎月三回	毎月三回	
広告料	一頁銀五拾弗	一頁銀五拾弗	
購買料	一部銀二拾五仙	一部銀二拾五仙	

出典：『新聞総覧』日本電報通信社，1917-21 年編纂。

註：1916 年以前に、東南アジアで出版された新聞は掲載されていない。

『南洋日日新聞』1920年
[同左]

『南洋日日新聞』1921年
[同左]

『爪哇日報』1921年

南洋日日新聞
南洋日日新聞社
英領海峽殖民地新嘉坡ヴキクトリア街
五〇ノ二
スマトラ島メダン, 東京
大正三年四月一日
組合組織
大正六年八月
古藤秀三
野村貞吉 [主筆兼編輯長]

手塚貞吉 [營業部長兼広告販売部長]
平盤二台

八ポイント半
大正七年十月

一行十五字詰, 一段百二十行 一頁十一段
四頁
毎夕刊 (当殖民地公休日及日曜休刊)
一行銀參拾五仙
一五八七番
一弗 (海峽殖民地貨)

南洋日日新聞
南洋日日新聞社
英領海峽殖民地新嘉坡ヴキクトリア街
五〇ノ二
スマトラ島メダン, 東京
大正三年四月一日
組合組織
大正六年八月
古藤秀三
野村貞吉
古藤秀三

平盤二台

八ポイント半
大正七年十月

一行十五字詰, 一段百二十行 一頁十一段
四頁
毎夕刊 (当殖民地公休日及日曜休刊)
一行銀參拾五仙
一五八七番
一弗二拾仙 (海峽殖民地貨)

爪哇日報
爪哇日報社
蘭領爪哇バタビヤ, ウェルトフレデン
市ガン, パツサル, パルー二拾二号

大正九年十月三十一日

佃 的外
加藤朝島
松原晩香

ロール二台 [印刷機械]

ポイント型 [活字]

一行一回蘭貨五拾仙

一箇月蘭貨二百五拾仙

『南洋及日本人』1920年
南洋及日本人
新嘉坡中通七十六
大正五年八月二十八日
佃 光治
菊二倍
十八頁
毎月三回
一頁銀五拾弗
一部銀二拾五仙

『南洋及日本人』1921年
南洋及日本人
新嘉坡ミッドルロード七五
大正五年八月二十八日
佃 光治
四六二倍版
三十二頁
毎月二回
一頁銀五拾弗
一部銀五拾仙

『新聞総覧』掲載「在外邦字新聞雑誌」(東南アジア, 1922-24年)

	『南洋日日新聞』1922年	『南洋日日新聞』1923年	『南洋日日新聞』1924年
社名	南洋日日新聞社	南洋日日新聞社	南洋日日新聞社
所在地	英領海峡殖民地新嘉坡ウキクトリヤ街五〇ノ二	英領海峡殖民地新嘉坡ウキクトリヤ街五〇ノ二	英領海峡殖民地新嘉坡ウキクトリヤ街五〇ノ二
支局	スマトラ島メダン, 東京	スマトラ島メダン, 東京	スマトラ島メダン, 東京
創立	大正三年四月一日	大正三年四月一日	大正三年四月一日
組織	組合	組合	組合
組織変更	大正六年八月	大正六年八月	大正六年八月
社長	古藤秀三	古藤秀三	古藤秀三
主筆	堀切音文	堀切音文	堀切音文
編輯長	堀切音文	堀切音文	堀切音文
営業部長	手塚貞吉	手塚貞吉	手塚貞吉
機械種類	平盤一台	平盤一台	平盤一台
活字種類	ルビー付八ポイント半	ルビ付八ポイント半	ルビ付八ポイント半
活字改正	八年十月	八年十月	八年十月
字詰	一行十五字 一段百廿行 一頁十一段	一行十五字, 一段百二十行, 一頁十一段	一行十五字, 一段百二十行, 一頁十一段
頁数	四頁	四頁	四頁
発行	夕刊	夕刊	夕刊
広告料	一行銀五拾仙	一行銀五拾仙	一行銀五拾仙
購読料	一ヶ月銀一弗五拾仙	一ヶ月銀一弗五十仙	一箇月一弗五十仙
電話	一五八七番	一五八七番	一五八七番
	『南洋及日本人』1922年	『南洋及日本人』1923年	
社名	南洋及日本人社	南洋及日本人社	
所在地	新嘉坡ミッドルロード七十五号	新嘉坡ミッドルロード七十五号	
支局	蘭領爪哇ウエルトフレデン, ガン, パツサル, バルー, ニ二爪哇日報社内	蘭領爪哇ウエルトフレデン, ガン, パツサル, バルーニ二爪哇日報社内	
創立	大正五年八月二十八日	大正五年八月二十八日	
組織	組合	組合	
社長	佃的外	佃的外	
主筆	佃的外	佃的外	
編輯長	当房盛吉	当房盛吉	
機械種類	平盤一台	平盤一台	
活字種類	九ポイント	九ポイント	
字詰	一行十六字 一頁四段	一行十六字一頁四段	
頁数	三十二頁	三十二頁	
発行	月二回	月二回	
広告料	普通欄一頁星貨五十弗	普通欄一頁星貨五十弗	
購読料	一部星貨五十仙	一部星貨五十仙	
	『爪哇日報』1922年	『爪哇日報』1923年	『爪哇日報』1924年
沿革	広汎なる南洋, 就中蘭領東印度に散在せる六千の在留邦人の連絡機関とし, 且つ対和蘭官民に対する意思疎通の機関として大正九年十月三十一日創刊, 蘭領唯一の邦字新聞なり。在留邦人にして本紙を読まざる者なく, 又小數なれども蘭人, 土人及び支那人の読者有す。	同左	同左
新聞名	爪哇日報	爪哇日报社	爪哇日报社
社名	爪哇日报社	爪哇日报社	爪哇日报社
所在地	蘭領爪哇バタバヤ, ウエルトフレデン, ガン, パツサル, バルー二拾二	蘭領爪哇バタバヤ, ウエルトフレデン, ガン, パツサル, バルー二十二	蘭領爪哇バタバヤ, ウエルトフレデンガンパツサル, バルー二十二
支局	英領新嘉坡ミッドル, ロード七十五号南洋及日本人社内	英領新嘉坡ミッドル, ロード七十五号南洋及日本人社内	
創立	大正九年十月三十一日	大正九年十月三十一日	大正九年十月三十一日
組織	個人	個人	個人
政派関係	中立	中立	中立
社長	佃的外		
主筆	齊藤正雄	齊藤正雄	齊藤正雄
編輯長	松原晚香	松原晚香	松原晚香
機械種類	平盤二台	平盤二台	平盤二台
活字種類	九ポイント	九ポイント	九ポイント
活字改正	大正九年十月		
字詰	一行十三字 一段七十五字 一頁十二段	一行十三字, 一段七十五字, 一頁十二段	一行十三字, 一段七十五字, 一頁十二段
頁数	四頁	四頁	四頁
発行	一日一回(夕刊)	夕刊	夕刊
広告料	普通欄一行蘭貨五拾仙	普通欄一行蘭貨五十錢	普通欄一行蘭貨五十仙
購読料	一ヶ月蘭貨二看五拾仙	一ヶ月蘭貨二看五十仙	一箇月蘭貨二看五十仙
電話	ウエルフレデン局二六〇六番	ウエルトフレデン二六〇六番	ウエルトフレデン二六〇六番
	総領事館公報 掲載	総領事公報 掲載	総領事館公報 掲載

出典:『新聞総覧』日本電報通信社, 1922-24年編纂。

『新聞総覧』掲載「在外主要邦字新聞紙一覧表」(東南アジア)、1925-41年

	1925年		1927年	
新聞名	新嘉坡 南洋日日新聞	爪哇 爪哇日報	新嘉坡 南洋日日新聞	爪哇 爪哇日報
発行所	新嘉坡ヴィクトリア街五〇二	爪哇パタビヤウエルトフレデング ンパツサルバルー二十二	新嘉坡ヴィクトリア街五〇二	爪哇パタビヤ、ウエルトフレデング ンパツサルバルー二十二
幹部				
社長	古藤秀三	齊藤正雄	古藤秀三	齊藤正雄
副社長				
編輯長	堀野音文	松原晩香	堀野音文	松原晩香
営業部長				
摘要				
創立	大正三年	大正九年	大正三年	大正九年
現在組織	個人経営	個人経営	個人経営	個人経営
資本金				
平盤	一台	二台	一台	二台
活字	八・五〇	九ポイント	八・五〇	九ポイント
一頁	十一段制	十二段制	十一段制	十二段制
夕刊	四頁	四頁	四頁	四頁
広告料	五十仙	五十仙	五十仙	五十仙
購読料	一弗五十仙	蘭貨二看五十仙	一弗五十仙	蘭貨二看五十仙
	1928年		1931年	
新聞名	新嘉坡 南洋日日新聞	爪哇 爪哇日報	海峽殖民地 南洋日日新聞	爪哇 爪哇日報
発行所	新嘉坡ヴィクトリア街五〇二	爪哇パタビヤ、ウエルトフレデング ンパツサルバルー二十二	新嘉坡ビクトリヤ街五〇	パタビヤ市ロアマラツカ街六
幹部				
社長	古藤秀三	齊藤正雄	古藤秀三	齊藤正男 松原勉
副社長				
編輯長	堀野音文	松原晩香		
営業部長			手塚貞吉	木野岡次郎
摘要				
創立	大正三年	大正九年	大正三年	大正九年
現在組織	個人経営	個人経営	組合組織	個人
資本金				八万円
平盤	一台	二台	一台	一台
活字	八・五	九ポイント	八ポイント五	九ポイント
一頁	十一段制	十二段制	十一段制	十二段制
夕刊	四頁	四頁	四頁	四頁
広告料	五十仙	五十仙	五十仙	五十仙
購読料	一弗五十仙	蘭貨二看五十仙		二盾五十仙
	1932年		1933年	
新聞名	海峽殖民地 南洋日日新聞	爪哇 爪哇日報	海峽殖民地 南洋日日新聞	爪哇 爪哇日報
発行所	新嘉坡ビクトリヤ街五〇	パタビヤ市ロアマラツカ街六	新嘉坡ビクトリヤ街五〇	パタビヤ市ロアマラツカ街六
幹部				
社長	古藤秀三	齊藤正男 松原勉	古藤秀三	齊藤正男 松原勉
副社長				
編輯長				
営業部長	手塚貞吉	木野岡次郎	手塚貞吉	木野岡次郎
摘要				
創立	大正三年	大正九年	大正三年	大正九年
現在組織	組合組織	個人	組合組織	個人
資本金		八万円		八万円
平盤	一台	一台	一台	一台
活字	八ポイント五	九ポイント	八ポイント五	九ポイント
一頁	十一段制	十二段制	十一段制	十二段制
夕刊	四頁	四頁	四頁	四頁
広告料	五十仙	五十仙	五十仙	五十仙
購読料		二盾五十仙		二弗五十仙

新聞名 発行所 幹部 社長 副社長 編輯長 営業部長 摘要 創立 現在組織 資本金 平盤 活字 一頁 夕刊 広告料 購読料	1934年 海峡殖民地 南洋日日新聞 新嘉坡ビクトリア街五〇	爪哇 爪哇日報 パタビヤ市ロアマラツカ街六	1935年 海峡殖民地 南洋日日新聞 新嘉坡ビクトリア街五〇	新嘉坡日報
	古藤秀三	齊藤正男	手塚貞吉	長尾正平
	松原勉	松原勉	今泉瀧	長尾正平
	手塚貞吉	木野岡次郎		
	大正三年	大正九年	大正三年	大正十年 [昭和六年]
	組合組織	個人	組合組織	
	八万円	八万円		
	一台	一台	一台	
	八ポイント五	九ポイント	八ポイント五	
	十一段制	十二段制	十一段制	
	四頁	四頁	四頁	夕刊
	五十仙	五十仙	五十仙	
	二弗五十仙	二弗五十仙		
新聞名 発行所 幹部 社長 副社長 編輯長 営業部長 摘要 創立 現在組織 資本金 平盤 活字 一頁 夕刊 広告料 購読料	1935年 爪哇 爪哇日報 パタビヤ市ロアマラツカ街六	日蘭商業新聞 パタビヤ市スピンハイスフラット 四五	1936年 海峡殖民地 南洋日日新聞 新嘉坡ビクトリア街五〇	新嘉坡日報
	齊藤正男	久保辰二	手塚貞吉	長尾正平
	松原勉	久保辰二	今泉瀧	長尾正平
	木野岡次郎			
	大正九年	昭和八年八月	大正三年	昭和六年
	個人	個人	組合組織	
	八万円	三万ギルダー		
	一台	一台	一台	
	九ポイント	ポイント	八ポイント五	
	十二段制	十三段制	十一段制	
	四頁	朝刊四頁	四頁	夕刊
	五十仙	三十仙	五十仙	
	二弗五十仙	二ギルダー五十仙		
新聞名 発行所 幹部 社長 副社長 編輯長 営業部長 摘要 創立 現在組織 資本金 平盤 活字 一頁 夕刊 広告料 購読料	1936年 爪哇 爪哇日報 パタビヤ市ロアマラツカ街六	日蘭商業新聞 パタビヤ市スピンハイスフラット 四五	1937年 海峡殖民地 南洋日日新聞 新嘉坡ビクトリア街五〇	新嘉坡日報 新嘉坡
	齊藤正男	久保辰二	手塚貞吉	長尾正平
	松原勉	久保辰二	今泉瀧	長尾正平
	木野岡次郎			
	大正九年	昭和八年八月	大正三年	昭和六年
	個人	個人	組合組織	
	八万円	三万ギルダー		
	一台	一台	一台	
	九ポイント	ポイント	八ポイント五	
	十二段制	十三段制	十一段	
	四頁	朝刊四頁	四頁	夕刊
	五十仙	三十仙	五十仙	
	二弗五十仙	二ギルダー五十仙	銀一弗五十仙	

	1937 年		1938 年	
新聞名	爪哇 爪哇日報	日蘭商業新聞	海峽殖民地 南洋日日新聞	新嘉坡日報
発行所	パタビヤ市ロアマラツカ街六	パタビヤ市スピンスフラット 四五	新嘉坡	新嘉坡
幹部				
社長	齊藤正男	久保辰二	手塚貞吉	長尾正平
副社長	松原勉			
編輯長		久保辰二〔主幹〕		長尾正平
営業部長	木野岡次郎			
摘要				
創立	大正九年	昭和八年八月	大正三年	昭和六年
現在組織	個人	個人	組合組織	
資本金	八万円	二万円		
平盤	四台	一台	一台	
活字	九ポイント	七ポイント半	八ポイント五	
一頁	十二段	十二段	十一段	
夕刊	四頁	朝刊四頁	四頁	四頁
広告料	五十仙	三十仙	五十仙	
購読料	二盾五十仙	二盾五十仙	銀一弗五十仙	一弗五十仙
	1938 年		1939 年	
新聞名	爪哇 爪哇日報	日蘭商業新聞	海峽殖民地 南洋日日新聞	新嘉坡日報
発行所	パタビヤ市ロアマラツカ街六	パタビヤ市スピンスフラット 四五	新嘉坡	新嘉坡
幹部				
社長	齊藤正男	久保辰二	手塚貞吉	長尾正平
副社長	松原勉			
編輯長		久保辰二〔主幹〕		長尾正平〔主筆〕
営業部長	木野岡次郎			
摘要				
創立	大正九年	昭和八年八月	大正三年	昭和六年
現在組織	個人	個人	組合組織	
資本金	八万円	二万円		
平盤	四台	一台	一台	
活字	九ポイント	七ポイント半	八ポイント五	
一頁	十二段	十二段	十一段	
夕刊	四頁	朝刊四頁	四頁	四頁
広告料	五十仙	三十仙	五十仙	
購読料	二盾五十仙	二盾七十仙	銀一弗五十仙	一弗五十仙
	1939 年		1940 年	
新聞名	爪哇 爪哇日報	日蘭商業新聞	南洋諸島 ダバオ日日新聞	海峽殖民地 南洋日日新聞
発行所	パタビヤ市ロアマラツカ街六	パタビヤ市スピンスフラット 四五	ダバオ市	新嘉坡
幹部				
社長	齊藤正男	久保辰二	小川山三郎	手塚貞吉
副社長	松原勉			
編輯長		久保辰二〔主幹〕		
営業部長	木野岡次郎			
摘要				
創立	大正九年	昭和八年八月	昭和十五年一月	大正三年
現在組織	個人	個人	株式会社	組合組織
資本金	八万円	二万円		
平盤	四台	一台	一台	一台
活字	九ポイント	七ポイント半	旧活字	八ポイント五
一頁	十二段	十二段	十二段	十一段
夕刊	四頁	朝刊四頁	日刊四頁	四頁
広告料	五十仙	三十仙		五十仙
購読料	二盾五十仙	二盾七十仙	一ペリ〔ソ〕八	銀一弗五十仙

1940年					
新聞名	新嘉坡日報	爪哇		日蘭商業新聞	
発行所	新嘉坡	爪哇日報		バタビヤ市スピンハイスフラ	
		バタビヤ市ロアマラツカ街六		ット四五	
幹部					
社長	長尾正平	齊藤正男		久保辰二	
副社長		松原勉			
編輯長	長尾正平 [主筆]			久保辰二 [主幹]	
営業部長		木野岡次郎			
摘要					
創立	昭和六年	大正九年		昭和八年八月	
現在組織		個人		個人	
資本金		八万円		二万円	
平盤		四台		一台	
活字		九ポイント		七ポイント半	
一頁		十二段		十二段	
夕刊	四頁	四頁		朝刊四頁	
広告料		五十仙		三十仙	
購読料	一弗五十仙	二盾五十仙		二盾七十仙	
1941年					
新聞名	南洋群島	海峽殖民地		爪哇	
発行所	ダバオ日日新聞	南洋日日新聞	新嘉坡日報	爪哇日報	日蘭商業新聞
	ダバオ市	新嘉坡	新嘉坡	バタビヤ市ロアマラツカ街	バタビヤ市スピンハイスフ
				六	ラット四五
幹部					
社長	小川山三郎	手塚貞吉	長尾正平	齊藤正男	久保辰二
副社長				松原勉	
編輯長			長尾正平 [主筆]		久保辰二 [主幹]
営業部長				木野岡次郎	
摘要					
創立	昭和十五年一月	大正三年	昭和六年	大正九年	昭和八年八月
現在組織	株式会社	組合組織		個人	個人
資本金				八万円	二万円
平盤	一台	一台		四台	一台
活字	旧活字	八ポイント五		九ポイント	七ポイント半
一頁	十二段	十一段		十二段	十二段
夕刊	日刊四頁	四頁	四頁	四頁	朝刊四頁
広告料		五十仙		五十仙	三十仙
購読料	一ペリ [ソ] 八	銀一弗五十仙	一弗五十仙	二盾五十仙	二盾七十仙

出典：『新聞総覧』日本電報通信社，1925—41年編纂。

註：1926、29-30年に、東南アジアで出版された新聞は掲載されていない。